

# 歴

## 史民俗資料館だより

No.28  
文化生涯学習課  
資料館係

### 江戸時代の遺跡・真壁陣屋跡の発掘がはじまりました。

6月から、歴史民俗資料館・真壁中央公民館（真壁町真壁地内）の建て替えに伴う発掘調査が始まりました。

発掘の場所は、江戸時代の真壁藩や笠間藩の役所「真壁陣屋」があったところです。

真壁陣屋は江戸初期に真壁藩主の浅野氏（浅野長政の三男の家系）がつくり、江戸後期には徳川幕府の譜代大名で、笠間藩主の牧野氏の時代につくりなおしているようです。

遺跡としての陣屋跡は、西半分が市街地となって失われ、東半分は明治時代から小学校、役場、公民館等の建設により、地上には残っていません。

地下にどれくらいかの遺跡が残っているか――。

近現代の痕跡をいねいに取り除き、江戸時代の断片を発見

する調査は、8月終わりごろまで続きます。



歴史の風景 No.2  
真壁陣屋からみた筑波山  
陣屋跡の北東部（資料館跡北側付近からみた筑波山）

江戸時代の人々も同じ風景をながめたことでしょう。次回は岩瀬地区の風景です。お楽しみに。

### 歴史のことは 7月

「伊豆之早雲は、はりをも蔵に積べきほどのたくわえ仕り・武者辺につかう事は、玉をも砕つべう見えたる」

『朝倉宗滴話記』

針ほどのものも蔵にたくわえる心がけて財産をつくり・財産を合戦の用に使うときは宝物を打ち砕くほど思いきりよく使ったそうだ。

5月号でも紹介した朝倉宗滴（あさくらそうてき）は、戦国時代に名をとどろかせた名将。その語録には他家の財産と人材活用の話も記し、参考にしています。

大事な時のために、ふだんから節約とたくわえにはげみ、使うときはおもいつきりよく決断して使う――。

決断に日頃の備えありですね。

### 真壁陣屋跡発掘調査 現地説明会のお知らせ

真壁陣屋跡の発掘調査の成果について、現地説明会を開催いたします。

■日時／8月8日（土） 10時～11時

■場所／真壁陣屋跡（桜川市真壁町真壁198-1）

※真壁中央公民館跡地

■内容／真壁陣屋跡の発掘で出土した遺構（堀などの跡）や出土品を公開いたします。

■参加費／無料

■説明会資料を配布します。

■申込方法／当日、現地でお申し込みください。定員はありません。

■駐車場／会場付近に駐車場はありません。左記の駐車場をご利用ください。（会場までは徒歩5～10分です。）

・高上町駐車場（当日無料）

・真壁駅南側駐車場（無料）

・真壁第一体育館（無料）

■問合先／文化生涯学習課文化財係（☎5815111、7513111、内線3224）

TKC 古橋伸夫税理士事務所

～お客さまに豊かさと繁栄を～

桜川市真壁町桜井765-2

TEL 0296-54-1540



あなたの描く想像を現実により綺麗に より美しくあなたと感動を繋ぐ存在でありたい。

株式会社 デジタル印刷

TEL.0296-54-2626(☎) FAX.0296-54-2724